



地域おこし協力隊 八雲町見聞録

体験・活動レポート

北海道暮らしフェアにて 八雲町をPR

先月は「北海道暮らしフェア」で八雲町のPRをするため、東京へ行ってきました。久しぶりの東京はやはりヒトとモノにあふれ、都会の雰囲気は圧倒されました。やはり住むなら八雲のように自然が多く、ゆったりとした環境が良いですね。

さて、肝心のフェアの方ですが、会場には約1,300名の方にご来場頂けたそうです。私たちがお会いできた方々へは八雲の自然や味覚、温泉など観光の話から、冬の生活や気候、住宅、生活コストなどの話まで幅広い分野でお話しさせて頂きました。特に生活面は自分が八雲に住んで感じたことをそのまま話し、八雲町民としての「生の声」を伝えられたのではないかと思います。また今回は若い世代の方の来場もあり、一番の話題は仕事でした。移住を考えているけど「地域でできる仕事はあるか」という相談を受けますが、これは地域の課題でもあります。移住者と呼ばれますが、地元の方も大切ですが、地元の若者が地元で働きたいと思えるまちづくりも地域住民の定住のために重要だと思います。



協力隊の「facebook」も見てください。今回の活動も掲載しています!

八雲町地域おこし協力隊



職場体験実習レポート

将来へとつなげて! 平成27年度 八雲中学校職場体験

■ 広報やくも取材体験

川口彩瑛(八中2年)さんが、みんなの職場体験実習を取材、記事を作成しました。



10月29日と10月30日の2日間、八雲中学校2年生が34か所の事業所で職場体験をしました。2つの職場に私は取材してみたところ、1日目の服部醸造では3人の仲間たちが丹精込めて作られた味噌を綺麗にパッケージするための作業を一生懸命行っていました。インタビューしてみると「とても大変で根気が必要だけど、初めての仕事だから新鮮な気持ちでこれからの作業も楽しく頑張っていこうと思います」と答えて頂きました。2日目は八雲総合病院での取材で薬剤師の体験をしていた3人にインタビューしました。「前から興味があって、実際は細かい作業が難しけど楽しいです」と言っていて、臨床検査技師の体験をしていた3人は「見たことない機械がたくさんあって、さらに、将来なってみたいという夢が増えました」と答えてくれました。

これらの2日間行った職業体験という学習を通じて、私自身も、たくさんの貴重な体験をさせていただき、2年生全体でもそれぞれの事業所で学んだことが、必ず将来の何かの役に立つだろうと確信しました。

